

<報道発表資料>

平成23年 2月17日

まちづくり施策

圏央道・田園都市産業ゾーンに新しい先導モデル地区が誕生 ー幸手インターチェンジ（仮称）東側地区ー

埼玉県は、圏央道幸手インターチェンジ（仮称）（平成25年3月開通予定）に隣接した幸手市大字神扇他地内の幸手インターチェンジ（仮称）東側地区を、「田園都市産業ゾーン基本方針」に基づき、産業基盤づくりを重点的に支援する先導モデル地区として選定しました。

県では幸手市と連携して早期に産業基盤づくりを実現し、ゆとりとチャンスにあふれる田園都市づくりを推進してまいります。

○ 幸手インターチェンジ（仮称）東側地区の概要

- ・場 所：幸手市大字神扇の一部、大字平須賀の一部、大字神明内の一部
- ・開 発 面 積：約47ha
- ・開 発 手 法：埼玉県企業局による産業団地整備
- ・事 業 期 間：平成23年度～平成27年度（予定）
- ・最寄りIC：首都圏中央連絡自動車道 幸手インターチェンジ（仮称）

○ 幸手インターチェンジ（仮称）東側地区の特徴

(1) 地域特性に応じた産業基盤づくり

圏央道幸手インターチェンジ（仮称）の隣接地という交通の利便性を活かすとともに、周辺の住宅地や田園環境と調和した工業団地とすることを目指します。

(2) 豊かなみどりの創出

地区の外周に屋敷林をイメージした高木植栽帯を設け、3,900本を超える豊かなみどりを創出します。

※ 参考（先導モデル地区の実績）

先導モデル地区名	事業面積
川島インターチェンジ北側地区	約 47 h a
白岡菖蒲インターチェンジ地区	約 19 h a
川越工業団地拡張地区	約 19 h a
騎西国道122号沿道地区	約 20 h a
北本中丸9丁目地区	約 12 h a
白岡菖蒲インターチェンジ白岡瀬地区	約 16 h a
狭山柏原北地区	約 7 h a
久喜清久工業団地周辺地区	約 39 h a
幸手インターチェンジ（仮称）東側地区	約 47 h a
計 9地区	約225 h a